



「ループのどの部分が OPEN になっても(断線や限界を超えた抵抗が生じた場合)、回路はアラーム状態になる」(TR20.20 参照)、とあるにも関わらず、デュアルワイヤーリストストラップ設計に固有の冗長性により、作業者は無傷のワイヤーを介して引き続き接地されます。

ESD ハンドブック TR20.20 5.3.9.2.2 項 デュアルコンダクター抵抗常時モニターによると、「このタイプのモニターは、2 線式ワイヤー(デュアルコンダクター)リストストラップと一緒に使用します。リストストラップアセンブリは、絶縁された 2 線式アースコードとリストバンドで構成されています。リストストラップを正しく装着している場合、モニターはアースコードの 1 本のワイヤー、リストバンドの 1/2、人の皮膚、リストバンドの 1/2、アースコードの 2 本目のワイヤーで構成されるループ抵抗を測定します。ループのどこかが OPEN(断線、抵抗値異常)になると、回路はアラーム状態になります。」

リストストラップの寿命は有限なので、システムの完全性を保証する試験頻度を設定することが重要です。一般的なテストプログラムでは、毎日使用するリストストラップは毎日テストすることを推奨しています。しかし、生産される製品が継続的に信頼できる接地の知識が必要とされるような価値のあるものである場合は、継続的な監視を考慮すべきであり、要求されることさえあります。

常時モニターは、品質、生産性を向上させ、リストストラップによる毎日のテストや試験結果の記録を不要にします。ESD-S1.1 6.1.3 機能テストの頻度によると、「常時モニターを使用する場合は、毎日のリストストラップテストを省略することができます。」

リストストラップとの接触は、Reztore™ESD ハンドローションで改善できます。

デュアルワイヤーコイルコードは、冗長性を提供します:一方のワイヤーが切断されても、作業者はもう一方のワイヤーで確実に接地できます。

- ・ 抵抗ループテクノロジーの常時モニターと併用することで、作業者の接地に対する適切な抵抗を継続的に確認できます。
- ・ 特注で製造された L 型端子は、より安全な接地接続を提供し、不意に外れるリスクを低減します。
- ・ 1MΩ 制限の抵抗入りコイルコードにより、作業者を不慮の接触による電気ショックから守ります。
- ・ 28 ゲージワイヤー。
- ・ 3.5 mm のモノラルプラグ。
- ・ 優れた信頼性。ESD S1.1 曲げ寿命テストを 16,000 回の要求に対し 200,000 サイクル以上行い、基準を大幅に上回る。
- ・ 優れた保証 - 1 年間の限定保証の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

Desco デュアルワイヤー常時モニターには、特許取得済みの\*デュアルワイヤーリストストラップをご使用ください。

品番	品名
<a href="#">19868</a>	デュアルワイヤーコイルコード、1.83m、7mm x 2
<a href="#">19863</a>	デュアルワイヤーコイルコード、3.66m、7mm x 2
<a href="#">19862</a>	デュアルワイヤーコイルコード、1.83m、4mm x 2

\*U.S.特許 6,052,053 および 6,205,408

## デュアルワイヤーコイルコード、L 型端子

DESCO JAPAN 株式会社  
〒289-1143 千葉県八街市八街い 193-12  
Tel: 043-309-4470  
DescoAsia.co.jp

図面番号  
19868J

日付  
2024 年 1 月

**DESCO**